

DV被害者実態調査 結果報告

資料 6 - 7

本調査は、「千葉市DV防止・支援基本計画」の計画期間が平成27年度で終了することに伴い、過去にパートナーからの暴力を受けた経験を有する女性を対象に聞き取り調査を実施し、暴力被害の実態をより具体的に把握することで、DVの根絶や被害者の自立支援のための今後の施策作りに役立てることを目的として実施しました。

調査の対象	市内母子生活支援施設入所者で協力を得られた方
調査の方法	職員2名により対象者より直接聞き取りを行った。（所要時間一人約40分）
調査期間	平成26年10月18日～平成26年10月28日
実施の状況	入所者15名から聞き取り調査を行った。

1 あなたの年齢はいくつですか？

(n=15)

	20代	30代	40代	50代	合計
人数	2	6	5	2	15
%	13%	40%	33%	13%	100%

2 現在の家族構成を教えてください（子どもの人数）

(n=15)

	1人	2人	3人	4人	合計
人数	5	8	0	2	15
%	33%	53%	0%	13%	100%

3 現在の就労状況を教えてください

(n=15)

	常勤	パート	契約社員	無職	合計
人数	0	7	2	6	15
%	0%	47%	13%	40%	100%

4 ここ1か月間の体調はいかがですか？

(n=15)

	とてもよい	良い	普通	悪い	とても悪い	合計
人数	2	3	6	3	1	15
%	13%	20%	40%	20%	7%	100%

5 体調について、気になることはどんなことですか？

- ・夜眠れない。夜中に目が覚めて眠れなくなる
- ・気分の落ち込み
- ・疲れやすい。体のだるさ
- ・めまい
- ・持病（メニエール病）が季節の変わり目に少し悪化する。
- ・血圧が急に上がることもある
- ・左目が見えにくい
- ・右腕の痛み だるさ 力がはまらない しびれることがある
- ・生理不順がひどくなった

6 パートナーの方から、初めて暴力を受けたのは、いつ頃ですか？

(n=15)

	交際中	結婚後	妊娠中	出産後	その他	合計
人数	6	6	2	1	0	15
%	40%	40%	13%	7%	0%	100%

(暴力を受けた期間)

(n=15)

	1~2年	5~7年	9~11年	17~18年	20年以上	その他	合計
人数	2	5	4	2	1	1	15
%	13%	33%	27%	13%	7%	7%	100%

7 あなたは、パートナーの方から、どんな暴力を受けていましたか？（重複あり）

(n=15)

	身体的	精神的	経済的	性的	その他	合計
人数	13	13	10	7	1	44
%	87%	87%	67%	47%	7%	-

(具体的な内容)

- ・外出を嫌がる
- ・2週間の出張の前に2週間分の買い出しに行く。いつ電話がかかってくるかわからないので外出できない。
- ・帰ってきていないと機嫌悪くなる「男と会っているんだろ」
- ・一日中携帯つながっていた、携帯チェック
- ・役所、病院に行くのもついてくる
- ・妊婦健診受けられず、自宅出産（第3子と4子）
- ・ふろ場汚れるから使えるのは20日に1回程度 等

8 とくにつらいと感じた暴力はどんなことですか？

- ・毎日、夜中まで暴言が続いた
- ・眠らせてもらえなかったこと
- ・子どもの前で殴られる
- ・子どもの泣き声で怒鳴る
- ・子どもや家族にも身体的な暴力がいきってしまい、家中がめちゃくちゃになってしまった時、私だけなら我慢できていたという気持ちだった。
- ・首を絞められ、殺されると感じた時
- ・殴られているときは痛み感じない。殴られた後、通院しなくてはならないことがつらかった。
- ・相手の感情の起伏に合わせるのが難しかった。
- ・出ていけと言われたこと
- ・すべて 等

9 暴力を振るわれたあと、医療機関にかかったことはありますか？（重複あり）

(n=15)

	なし	整形外科	脳神経外科	形成外科	外科	合計
人数	9	4	2	1	1	17
%	60%	27%	13%	7%	7%	-

10 パートナーの方は、どんなお仕事をされておりましたか？

(n=15)

	常勤	自営業	パート	無職	その他	合計
人数	6	5	2	1	1	15
%	40%	33%	13%	7%	7%	100%

11 パートナーの方の年収はいくら位でしたか？

(n=15)

	300万円以下	300~500万円	500~1,000万円	1,000万円以上	不明	合計
人数	3	3	2	0	7	15
%	20%	20%	13%	0%	47%	100%

12 パートナーの方は、お子さんの前でも暴力をふるいましたか？

(n=15)

	ふるった	ふるわない	不明	合計
人数	13	1	1	15
%	87%	7%	7%	100%

1.3 お母さんがパートナーから暴力を受けていたことで、お子さんの心身の健康や行動に関して影響を与えていると思いますか？

- ・父が出張から帰ると聞くと、元気がなくなる。笑顔が消えていた。怖がっていた。
- ・父、早く死んでくれないかな、と言っていた。
- ・大人の顔色をうかがったりする。
- ・子供らしさが少し足りないような・・・□
- ・「お父さんの話をやめて」と嫌がる
- ・男性を怖がる。
- ・暴力暴言で言うことをきかせようとする。
- ・学習障害の症状があり、特別支援学級に在籍している。
- ・幼少よりずっと指しゃぶりが治らない。
- ・多動性
- ・包丁をだすこと。等

1.4 パートナーの方は、お子さんにも暴力（虐待）をふるいましたか？

(n=15)

	ふるった	ふるわない	不明	合計
人数	10	4	1	15
%	67%	27%	7%	100%

1.5 あなたはDVから逃れるために、どなたに相談しましたか？（重複あり）

(n=15)

	親	きょうだい	親族	パートナーの親	友人	近隣	職場の人	その他	相談なし	合計
人数	8	6	1	5	7	1	1	3	0	32
%	53%	40%	7%	33%	47%	7%	7%	20%	0%	-

1.6 あなたはDVから逃れるために、どんな機関を利用したことがありますか？（重複あり）

(n=15)

	警察	配暴センター	市町村の窓口	民間シェルター・婦人相談所	母子生活支援施設	医療機関	裁判所	弁護士	児相	男女共同参画センター	その他	合計
人数	13	1	9	13	8	1	2	6	1	1	3	58
%	87%	7%	60%	87%	53%	7%	13%	40%	7%	7%	20%	-

17 暴力を受けている時に、どんな助けがあったらよかったですか？

【暴力の影響を理解する】

- ・暴力と気付いてなかったので、どういうものが「DV」か、説明を強く市の相談員にして欲しかった。
- ・役所に相談してDVを知った。一人では相談場所がわからなかった。最初から相談窓口へは行きにくい。
- ・友人の方が話しやすい。
- ・自分が置かれている状況を理解させてくれる人。
(当時はDVとわからなかった。思考力は0で、考える余裕がなかった。彼をどうにかしたい、助けたいと思い相談しようとは思わなかった。)
- ・TVからの情報でDVを知った。最初はDVを知らなかった。
- ・渦中は気付かない。
- ・自分で望んでそばにいたので、助けがあっても無駄だと思う。そばにいるときは気付かない。
- ・最初はDVと思わなかったが、次第に分かりブログをのぞいたりしていた。
- ・DVというと「ひどい暴力」というイメージがあった。
- ・一緒にいたら明日死んでるかも、逃げなくてはと気持ちが固まってから必要な支援を受けられた。

【相談先の周知】

- ・電話相談の周知。常に一緒にいると情報が取れない。相談電話するタイミングもなかった。
- ・逃げられる場所を教えてほしかった。
- ・役所に行くことがなかったので、相談する場所がわからなかった。インターネットも苦手。
- ・身近で相談できる場所や第三者の方たちの介入。

【生活の手立てについての情報】

- ・家を出た後の生活が不安だった。
- ・一人で子供を育てる不安。生活する方法があること知らなかった。
- ・子供が小さいときはお父さんがいないとかわいそうだった。
- ・障害の子の子育てが心配だった。

【その他】

- ・役所に行く機会がなかった。(バス2回乗継ぎ要)
- ・ノイローゼのようになっていて、相談したいという気持ちもなかった。
- ・相談することでひどくなることへの恐れや、子供に知られると思い相談できず、相談先も探さなかった。
- ・日本語だとわからないのでパンフレットをとらない。はずかしくて相談しなくなかった。(外国籍女性)
- ・相談機関で支援していただいたが、正直肩身の狭い思いもした。
- ・逃げる時も小さい子供も一緒ですごく怖い思いもした。逃げるところから安心して手助けしてくれる機関があるといいと思った。
- ・子供を人質に取られるなら、父親いないほうがいいと思い逃げた。
- ・娘のシェルターに入りたいという言葉が 後押しとなった。

18 保護命令などの制度や住民基本台帳などの支援措置などの制度を知っていましたか？それを利用しましたか？□

(n=15)

	知っている	知らなかった	不明	合計
人数	9	5	1	15
%	60%	33%	7%	100%

	利用した	利用しない	不明	合計
人数	8	5	2	15
%	53%	33%	13%	100%

19 今の生活で困っていることや「こんな手助けがあったらいい」と思うことはありますか？

【仕事・生活について】

- ・母子の一人親の方がどんな仕事についてるか、パートか正社員かなど今後のために支援してほしい。
- ・仕事が見つかるといい。就職支援があったらいい。
- ・仕事がしたいが、子供が小さいので病気の時など休める仕事でないと無理。
- ・一人で子育て、生活できる手立てを知りたい。
- ・逃げてきたためすべて一からのスタート。不安だったのは仕事が見つかるか、子供のこと、生活のこと。
同じような被害者方からのデータを集めて、こうした方が良くとかこうすれば良かったがわかる資料があれば参考にできる。
- ・避難後、病院や子育てサービスの情報等あれこれ調べて計画たてる精神状態ではない。混乱しているので自分では無理だったと思う。
- ・役所への手続きや裁判所に職員が同行してくれてとても心強い。
- ・全く知らない土地なので、アドバイスしてくれる人がいないと心配。

【子どものこと】

- ・夜間の預かりが欲しい。
- ・子どもが病気の時、どうしても仕事が休めない場合、預かってくれる機関。
- ・仕事で子どもの勉強を見る時間確保が難しいため、低額な塾。
- ・子どものこと、勉強。
- ・子どもに対してのケアの仕方。
- ・子どもが不登校ぎみ。義務教育でも少人数で問題を抱えた子が通える学校をもっと増やしてほしい。
- ・自分のことが精一杯。子どものことをみる覚悟で出ても、対応しきれないこともある。

【その他】

- ・身分証がないこと。住基カード、現住所での身分証、子供の身分証が欲しい。
- ・免許の更新を逃し、失効してしまったこと。
- ・早く離婚したい。
- ・漢字が読めない、バス・電車の乗り継ぎがわからない。（外国籍女性）
- ・息抜きの時間が欲しい。
- ・相手側の行動がわかっただらいいなと思う。こちら側が逃げてばかりの生活をどうにかして欲しい。（家族に会えないなど）

20 今の生活で何か楽しみにしていることがありますか？

- ・何事もなく、穏やかな生活ができることが大事
- ・安心して子供たちと生活できること
- ・子供との時間、子供とお出かけ
- ・子供の成長
- ・将来のことを見据えて資格取得すること
- ・仕事
- ・帰ってきたら「お帰り」と声をかけてくれる職員 うれしい（母子生活支援施設入所者）
- ・早く自立したい（生活保護受給者）
- ・月に一度両親と会えること